

⑤ 青木周蔵（1891年）

今度こそ治外法権を撤廃！！と思いきや、大津事件で挫折（泣）

1891年大津事件

来日中のロシア皇太子ニコライ2世を警護中の警察官津田三蔵が斬りつける！



政府は津田の「死刑」を要求。

ロシアの手前、過剰に処罰しないと都合が悪かったんだ。



しかし！大審院長（最高裁の裁判長）児島惟謙は

こじまこれかた

「司法権の独立を守る！裁判はどんな圧力にも負けない！」

と無期懲役の判決を出す。怒ったロシアは条約改正どころじゃない。またもや治外法権撤廃のチャンスは消えてしまうのだった。

↓ 1894年日清戦争

⑥ 陸奥宗光（1894年）

今度こそ今度こそ、、、治外法権を撤廃！！..°+. (・▽・)°+.°

日清戦争が始まる中、世界は日本を「一人前」と認めてくれた！

日英通商航海条約で念願の治外法権、撤廃！！

↓ 1904年日露戦争

⑦ 小村寿太郎（1911年）

ついに、関税自主権も回復！！もう不平等じゃない！！\(^ω^)/

日露戦争後の日本を見る目は大きく変わった。

「不平等？舐めんといてください。やるならやりますよ！」
強気な日本に欧米諸国も素直に条約改正に応じる。